

Y's Men International  
Y Service Clubs International

**YMI**

**WORLD**



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members

YMI ワールド  
2018-2019 No.3  
日本語版



Towards  
2022

ワイズ創始者の旧居と遺跡を訪ねて、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクト、ポール・ウィリアム・アレキサンダー—触れる者を変えてしまう稀有な人、YMIの記録がミネソタ大学に保管、環境：気候変動—より多くの活動を！、YMIの事業：リーダーシップ育成のためのグローバルな機会・タイム・オブ・ファスト基金 (TOF) —様々な意味でユニークな基金・エンダウメント・ファンド (EF) —長期的に安定させるために、国境を越えて：デンマークとコンボ—報われる旅を共に・国境を越えたエクステンション - 追い求める価値のあるアイデア、ワイズメネット：ティラナでの国際プロジェクトが離陸、2019年国際選挙結果、魂の真言：レットルを貼る行為の非人道的な影響+地域からの報告



## 読者の皆さまへ



YMIは、興奮の時代を迎えました。100周年への旅の最後の行程を進むに当たって、楽観的な見方と情熱が広がっています。多くのエリアのリーダーたちは、ムン・サン・ボン国際会長の意欲をかきたてられる主題および行動への要請によって、私たちの運動を成長させようとする類まれなる熱意を示しました。数か月前には不可能と思われたことが、今や可能と思われています。

ムン国際会長とジョース国際書記長は、ふたりして、2022年が記憶に残る年となるための全ての手段を尽くそうと働いています。ムン国際会長は、オハイオ州トレドで創始者の家と墓を探すチームを率いました。残念なことにほとんど見つけることはできませんでした。しかし、この旅によって、デビー・レドモンド(米国)とキム・サン・チェ(韓国)のふたりを共同委員長として、創設者を適切に讃えるためのタスクフォースが設立されたのです。100周年のときまでの全エリア会長もこのタスクフォースのメンバーとなります。

2月にチェンマイで開催された年次会議では、創始者に相応しい記念碑を造るために3年間に100万米ドルを集めるというとても野心的な計画を採択しました。様々なアイデアが出ましたが、その中には、「ポール・ウイリアム・アレキサンダーの幼少期の家を、地域のYMCAおよび改めて設立されるトレドワイズメンズクラブのプログラムが地域のコミュニティーに資するために改装、再利用すること」も含まれています。目標の100万ドルの内、既に10万ドルが捧げられているか約束されていることには元気づけられます。また、トレドYMCAとトレド市長が、故ポール・ウイリアム・アレキサンダーを記念することに対してのYMIのどんな提案も最大限サポートするというのを聞き、勇気づけられています。

今号では、ムン国際会長ほかの詳細な報告が掲載されています。また、それは、タスクフォースが行おうとしている計

画についての理解を進めてくれるでしょう。デビー・レドモンド(国際ヒストリアン)は、ポール・ウイリアム・アレキサンダーについての心温まる記事を書いています。

私たちの創始者の名前のもとに、長続きする遺産(レガシー)を造る私たちの野心的な計画に手を挙げ、加わるよう強くお奨めします。

ワイズリー

コシー・マシュー

## 私の本棚から

「敵と対戦して」:ネルソン・マンデラと国を造った試合 ジョン・カーリン

史上最大の「魅力攻勢」のスリングで感動的な話 - ネルソン・マンデラの、刑務所の独房で始まりラグビートーナメントで終わる、彼の国を団結させる10年間にわたるキャンペーン。

1985年、当時23年間刑務所に入っていたネルソン・マンデラは、刑務所の仲間から南アフリカの軍のトップまで、アパルトヘイトの最も激しい支持者を勝ち取ることを始めました。最初に彼は、自分の自由を得て、それから彼は、1994年の全国初の自由選挙で大統領になりました。しかし、彼は、南アフリカがほとんど50年に及ぶアパルトヘイトによって依然として危機的に分断されていることを知っていました。もし彼が自分の国を本能的、感情的な方法で(そして速く)統一することができなければ、混乱に陥ったことだったでしょう。彼は、半世紀の行動主義の間に磨いたカリスマ性と戦略的洞察力をすべて必要とし、そして南アフリカ人全員が共有できるものを必要としていました。マンデラは、1995年に主催する予定のワールドカップでのナショナルラグビーチーム、スプリングボックスという信じがたい目標を選びました。彼らの驚くべき勝利の連続が続くにつれて、ホームグラウンドの優位性は急激に高まりました。あらゆる膚の色と政治的な党派の南アフリカ人は、自分たちがチームに惚れ込んでいることに気づきました。その日、スプリングボックスは、ハラハラする戦いに勝ち、賭け屋の倍率をもとめせず、マンデラの10年間にわたる奇跡的な努力を締めくくって、4,300万人の南アフリカ人を永続的な絆で結集させました。ロンドン・インディペンデント誌の元南アフリカ支局長であるジョン・カーリンは、当時の最も偉大な政治家の非凡なポートレートを提供し、人種、スポーツ、政治の不安定なカクテルをブレンドして読者を酔わせています。彼は、マンデラ、デズモンド・ツツそしてマンデラの重大なキャンペーンに加わった他の何十人も南アフリカ人、そしてスプリングボックスの予想外の勝利について広範なインタビューを行いました。彼が感動的に明らかにしているように、彼らのチャンピオンシップは、単なる勝利のスリルを、古くからの憎しみを消して国をひとつとするものに超えさせたのです。



(A Goodreads Review)

表紙: ミネソタ大学のアンダーセン図書館の地下書庫にはワイズメンズクラブ国際協会を含む特別な収蔵品が保管されている。7ページを参照。

### ワイズメンインターショナル

#### ワイサービスクラブズインターナショナル公式誌

国際本部: Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205 スイス

国際編集長: コシー・マシュー

日本語版翻訳グループ: 田中博之(委員長、東京多摩みなみ)、  
青木一芳(千葉)、今城高之(横浜つづき)、利根川恵子(川越)、  
太田勝人(東京世田谷)、倉田正昭(京都)、  
谷川寛(大阪センテニアル)、谷本秀康(東広島)

印刷: (株)三浦印刷所 三浦克文(岡山)

## ワイズ創始者の旧居と遺跡を訪ねて



1月初旬に、ムン・サン・ボン国際会長率いるYMIのリーダーのチームがオハイオ州トレドを訪ねました。ワイズメンの創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダーの終焉の地を見定めようとの試みでした。ムン会長に同行したのは、ムン夫人、国際歴史家のデビー・レドモンド元地域会長、レガシープロジェクト委員会のキム・サン・チェ共同委員長夫妻、YMCAのチャック・ハートリッジ、国際会長秘書のジンおよびニューヨークからのPRチーム(シビ・デイヴィド、ロイ・マシュー、モハンジ・チラマニル)の皆さんでした。以下の記事は、この訪問の直後に配布されたムン・サン・ボン国際会長の報告文を基にしたものです。(編集長)

2019年1月7日、私たちの最初の試みは、ポール・ウィリアム・アレキサンダーが結婚後家族と共に住んだ家突き止めることでした。それは彼の生家とされている家屋に比べると小さく、しかし、手入れされた家でしたが、それ以上のことを聞き出せる人には会うことができませんでした。

同じ日、私たちは、1967年の彼の逝去時に葬儀と記念礼拝が行われたセントポール米国聖公会教会を訪れました。そこではポール・ウィリアム・アレキサンダーの母親を、一緒に欧州旅行を企画した人として記憶していたオルガン奏者に会いました。でも話はそれだけでした。アレキサンダーや彼の家族について、彼女からはほとんど何も聞き出せませんでした。しかしビデオ取材班が、この教区に保管されていた記録の中から、教会員としてのポール・ウィリアム・アレキサンダーに関する画像を得ることができました。

その後トレド広域YMCA&JCCのチャック・ハートリッジ広報・調査担当主事が、教会の記録から追加の情報を取得してくれました。それを列記します。

- ・ ポール・ウィリアム・アレキサンダーは1932年に成人堅信式を受領している。正確な日付は不明



セントポール米国聖公会協会の外でのムン国際会長(右)とレガシープロジェクト委員会のキム共同委員長

- ・ ポールとロレーン・アレキサンダーは1950年代にはセントポール教会の陪餐会員だった。その前後の年代にもそうだったかも知れないが記録がない。この年代の記録は現存する。
  - ・ ポール・ウィリアム・アレキサンダーは、1967年6月29日、オハイオ州モーミーで、脳血栓症のため78歳で逝去した。彼はウッドローン墓地に埋葬された。記念礼拝が1967年7月3日セントポール教会で、ハワード・H・グラハム師により執り行われた。
  - ・ ポールの妻ロレーンは、1968年8月16日、オハイオ州モーミー、リヴァーロード420番地で、80歳で逝去した。彼女もウッドローン墓地に埋葬された。記念礼拝は1968年8月19日にセントポール教会で執り行われた。
- 次に私たちは、国際公園を通りました。そこには諸奉仕クラブが植樹を行っていましたが、ワイズメンの参加や記念碑を示すものではありませんでした。

昼食後、私たちはポールの生家を訪ねました。彼はここで生まれ、育ち、結婚して判事になるまで住んでいました。デビーの調査によれば、彼の父親は、彼が3歳のとき亡くなり、母と姉が彼を養育したということです。その家屋は、朽ち果て、ほとんど放置されていました。

しかし、市役所によると、私たちが見た家は住所が違い、その住所には建物は何もなかった草地だということです。ウェイド市長は、この件を調査して、翌日の面会時に必要な情報を知らせると約束してくれました。結局その住所「ヒューロン街1017番地」は正しいことが判明しました。歴史家・デビー元地域会長の追加調査のお陰です。

次の訪問地点は、家庭裁判所センターでした。そこで私たちは、世界で最初のワイズメンズクラブが設立された場所を示す銘板を見つけました。その銘板は、小さく、建物の外にありました。

それから私たち一行は、アレキサンダー判事一家が埋葬されている史跡ウッドローン墓地を訪れました。デビーの事前調査によって得ていた情報は、ポール・アレキサンダー夫妻と子息の遺灰は、標石39の近くの区画31に埋



ポール・ウィリアム・アレキサンダーが育った家の前の一行



家庭裁判所の前、世界最初のワイズメンズクラブが設立された場所を示す銘板

葬されているというものでした。特定の位置を示す確かな標識として、274と番号のある小さい床石だけが見つかりました。探索を妨げる小ぬか雨の中で、長い時間がかかりました。

そしてついに、彼の遺灰が妻のそれと並んで埋葬されている正確な地点を見つけ出すことができました。心が揺さぶられるような思いがしたこと、私たちワイズの創始者が永遠の安息を得ている所には、墓石もそのほかの記念碑も何もないのです。

ホテルへの帰途、私たちは、トレドYMCAに立ち寄りしました。活気に満ちた雰囲気の中で、大勢の元気な会員たちが、種々の活動を楽しんでいる様子を目の当たりにしました。

その夕は、トレド広域YMCA&JCCの会長兼CEOブラッド・トフト氏と夕食を共にしました。私たちは、10人のグ



右の写真は、ポールの遺灰が埋葬されている場所を指さすデビー、ムン国際会長、キムの3人。ウッドローン墓地(上の写真)にて

ループでもあり、満員の食堂の雑音の中では十分な会話ができませんでした。しかし同氏が、私たちの訪問がワイズの創始者を訪ね顕彰するものであることを理解し、強く支援してくれるであろうと確信しました。同氏は、たいへん快活な方で、私たちを市長に引き合わせるという役目を果たしました。

2019年1月8日、私たちは、市長室で、Wade・Kapszukiewicz市長と面会しました。彼は実に素敵な人でした。若く、理知的で、私たちの話熱心に耳を傾け、支援に前向きな姿勢を示されました。ポール・ウィリアム・アレキサンダーの遺産についてのどんな質問にも答え、探索を支援しようと約束しました。

何よりも、市長が私たちに、このプロジェクトを遂行するに当たっては行政上の制約が何もないと保証されたことが大きいのです。世界中のワイズの会員に大きく紹介されることで、このプロジェクトがトレド市のためになるということに、市長は基本的に同意しました。

トレドから戻ってすぐ、キムとデビーと私は会合し、この「遺産プロジェクト」への関わりを誓い、事業を発進させ



トレド広域YMCA&JCCのブラッド・トフト会長兼CEO(右から2人目)とのYMCAでの会合



トレド市長と市長室にて

ることとしました。私たちのトレド訪問は、この事業の進むべき道を探求できたこと、トレド市当局の合意を得たことにおいて大きな意味をもちます。今やタスクフォースの共同委員長が活発に連絡を取り合い、日程案に沿ってこの事業を進展してくれると信じます。

今回のトレド訪問によって、トレドにおけるワイズ運動再活性化の可能性ができました。この「遺産プロジェクト」の一翼として、国際執行役員諸氏が本案推進に絶えざる支援を惜しまれないことを願います。以上の報告のビデオ映像版については、次をご覧ください。

<https://youtu.be/igb-fkGzC3Q>

## ただいま発進!

2018年度の国際議会において、ポール・ウィリアム・アレキサンダーを称え、私たちの全地球的な現代のアイデンティティを築き、現在のメンバーを熱中させ、新しいメンバーを引き入れるプロジェクトを提案することを最重要課題とする「創始者遺産プロジェクトタスクフォース」がムン・サン・ボン国際会長の着想によって設置されました。タスクフォースの共同委員長のデビー・レッドモンドは、ムン国際会長と密接に協力し合ってポール・ウィリアム・アレキサンダーのより広い理解と調査によってその仕事を始めました。彼女は、ポールの孫たち、トレド市長、トレドYMCAとの関係を打ち立てました。いくつかの最初のプロジェクトのアイデアが形作られ始めました。11月までに、ミネアポリスの記録文書保存館とトレドを、12月に予定されている米国エリア・太平洋南西区の訪問に引き続いてムン国際会長と訪問することが提案されました。1月7日と8日にトレド市長とトレドYMCAとの会合が準備されました。これらの2日の間に、ムン国際会長、デビー・レッドモンドと次期エリア会長キム・サン・チェの共同委員長そして歴史的な訪問を記録するためのニューヨークからのワイズメンPRチームのグループが私たちの創始者の人生を辿りました。



ムン国際会長が年央会議にてプロジェクトの詳細を説明

2月17日の午後には、ムン国際会長が年央会議の出席者に対して旅の写真と映像を含み、また可能性のある取り組み、資金集めのアイデア、100周年推進ロゴを含むプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションの後、年央会議は、小グループに分かれて、提示されたことのいくつかに焦点を絞った話し合いを行いました。

このトピックは、年央会議の続く日々にも、より広範に亘って採り上げられました。最後の午後には出席者のリクエストによって、「遺産プロジェクト」のコンセプトが割り当てられました。出席し

た地域会長 / 次期地域会長の総体的合意事項は以下のとおりです。



た地域会長 / 次期地域会長の総体的合意事項は以下のとおりです。

- ・ 2021 年末までに 100 万米ドルの基金を、3年間に亘ってクラブ、区からの会員ひとり当たり年間 10 米ドル相当の寄付および個人の寄付によって集めるという目標の設定
- ・ 基金の公式名称を「ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産」とすること、およびその基金が補助するプロジェクト
- ・ プロジェクトは依然として検討中であり、基金の額に依るが、以下を含む。
- ・ ミネアポリスの記録文書の一定部分をデジタル化し、また、YMCA と協力してオンライン博物館を設立すること
- ・ ポール・ウィリアム・アレキサンダーの現在無名となっている墓所や記念物、像の購入および刻印された墓石の設置
- ・ トレドで 2019 年 11 月に開催予定の初の国際 RDE サミットの金銭的支援および創始者遺産フォーラム、プログラムの実施
- ・ ポール・ウィリアム・アレキサンダーの幼少期の家を、地域の YMCA / 新しいトレドワイズメンズクラブの地域社会に貢献するために改築と用途変更を行うこと
- ・ 基金の一部は、100 周年推進のための資料、会員名簿およびカード、寄付の表彰のために確保すること

国際本部は、地域と区においてこの計画を説明および宣伝するための資料を作成し配布することを要請されました。この仕事は現在、進行中です。「ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産」専用の会計口座が設立され、寄付の受け入れが始まっています。実際に、2月17日の即興の「遺産プロジェクト」夕食会において、年央会議参加者とゲストのチェンマイのワイズメンが 75,000 米ドル以上の寄付を約束することでキャンペーンを非公式にスタートさせました。

トレーシー・モビグリアッティ(国際本部)

## ポール・ウィリアム・アレキサンダー～触れる者を変えてしまう稀有な人 デビー・レドモンド — ISD ヒストリアン



法廷のラウンジにあるベンチの上の壁にボートのレプリカがつるされており、「舵に出来ない者は岩礁に出来る」という引用が添えられています。法廷を訪れた人の中でこの引用文の意味を知らない人、分からない人も、この部屋に入った瞬間、間違いなくこれに目に留めるでしょう。

この法廷

は同じ判事により、1936年から30年間維持されてきました。この法廷は極めて頻繁に離婚訴訟の審問の現場となりましたが、判事は、問われるままにその引用文の意味を次のように説明しました。曰く「離婚は岩礁のようなもの、舵は滅私の自己規律のようなものです。」法曹界において、この法廷におけるこれらの30年間は重大なことです。50年後の今でさえ、この判事が作り出した「変化」について語られたり書かれたりしています。彼は、実際に離婚に対する見方や、彼が言う「結婚の遺骸」である離婚を成立させる際の進め方をすっかり変えてしまいました。彼はその仕事を通して、多くの変化をもたらすとともに、生涯を通じて多くの栄誉を授かりました。彼の死亡記事には彼について、「青少年の交通違反者講習会や結婚相談など、今でも続けていることを始めた人であった」と述べられています。

一人一人のワイズメンにとって、この人は全く違った者であるかもしれませんが、未だに多くの人に影響を与え、その人生を変えています。その判事こそ、我々の創始者であるポール・ウィリアム・アレキサンダーでした。ご存じない方のために申せば、彼は、78年間の生涯の内64



1950年代の写真—この写真の下部に記された説明文には次のようになっています。

「トレド家庭裁判所のポール・アレキサンダー判事は、9歳の少女に、離婚した両親が争っている彼女の親権についての思いを優しく問いただした。オハイオ州の法律によると、彼女は最終決定できる立場にはないが、この聡明な判事は、彼自身が結論を出す前に少女の考えを聞いておきたかったのだ。元来少女の母親が親権を有していたが、母親が病になったため父親のもとで生活することとなった。自身に関わる係争によって少女は、緊張の余り神経質に陥ったため法廷は、彼女の父親の提訴を認めたが、それにより少女の症状は、ほぼ消滅した。この判事は、22,000件の離婚訴訟を手掛け、トレドの青少年犯罪を50%減少させたことで知られている。彼は、離婚は、原因ではなく家庭崩壊の結果であり、多くの離婚が認められてしまっている偽善行為と準犯罪的な手続きを排除しなければならないと指摘している。

彼の治療：不幸で非行を起こしている夫婦を、現代の家庭裁判所で非行少年を扱う際に学んだように扱いなさい。そこでは、社会にとってまた家族にとって最良となる診断方法とセラピー療法が用いられている。

年間は、母子家庭で育った十代のころからYMCAに関わってきました(彼の父は彼が3歳の時に他界しています)。若い職業人として彼は、もともと「トリムカ」と呼ばれたひとつのクラブで活動を始めました。そのクラブの名称と影響力は、1922年にワイズメンズクラブ国際協会に所属する「トレド中央ワイズメンズクラブ」となり、大いに変わります。P. W. アレキサンダーは初代のワイズメンズクラブ国際協会会長となりました。彼は最初の憲法を起草し、就任式式文を書き、ワイズソング、入会式手順などを作り、更には、今でも我々が使っているモットー「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」を作りました。1967年に彼が天に召されたときには30か国に500以上のクラブが作られており、以降更に発展が続きしました。

P. W. アレキサンダーは法律家、判事であり、セントジョーンズ大学の法律の教授を務めました。また彼は、トレド・メトロポリタンYMCAの役員を務め、更に長年にわたりトレド少年クラブのほか、北トレド地域ハウス、障がい児協会、広域トレド共同募金、児童福祉協会などの熱心な活動家でした。家庭でのアレクサンダー判事は、夫人やお嬢さんを愛しました。ご子息は9歳の時に天に召されました。自身と夫人の母親を自分の家で面倒を見、そして、3人の孫にとって素晴らしい祖父になりました。彼は正に「触れる者を変えてしまう」ともいべき行いをしてきました。彼の見識やトータルなものの見方は、多くの人たちに影響を及ぼしてきましたし、それが彼の死後52年も続いているということです。私たちは、彼の「触れる者を変えてしまう」ことに、そして、人生やすべての人々に対する、彼のオープンな、受け入れられるアプローチを記憶に残し続け、讃え続ける必要があります。

私たちは、彼の「触れる者を変えてしまう」ことに、そして、人生やすべての人々に対する、彼のオープンな、受け入れられるアプローチを記憶に残し続け、讃え続ける必要があります。



## YMI の記録がミネソタ大学に保管

我々の活動が始まった 1922 年に遡るワイズメンの記録文書は、現在、その終の棲家としてミネソタ大学のアンダーセン図書館に保管されています。

我々の記録は、歴史的に見て、マサチューセッツ州ローレンスのヘンリー・グライムズの地下室に始まり、ニューヨークの YMCA 米国事務所、我々の初代ヒストリアン・ジュージ・カイトルのペンシルバニア州ハリスバーグの自宅など数多くの場所に預けられてきました。

その後、シカゴの YMCA 米国事務所に我々の歴史的資料を集約することが決定しました。1984 年、米国 YMCA とミネソタ大学は、記録文書庫を設置するための協力関係を締結しました。YMI は、YMCA の呼びかけに応じて、記録文書庫のスペースの一部を使わせてもらうことになりました。

資料類がシカゴに到着した際、前ヒストリアンのジム・ミュラーと夫人のオードリーは、YMCA やワイズメンの資料の箱を仕分けするためシカゴにやってきました。最終的には資料は、ミネソタ州セントポール、ミッドウエー地区の古い倉庫に設けられたミネソタ大学記録文書庫に搬送されました。1997 年に我々の運動の歴史を綴る委員会が選定された際、委員会メンバーは、記録文書庫とワイズメンの記録の近くに居住するよう決められました。

1998 年、ミネソタ大学は、キャンパス内に記録文書棟を建設することを決定しました。キャンパスの敷地が不足していることもあり、地下に倉庫を作り、事務所スペースとして地上に 3 階を建設することが決まりました。その建物は、大理石とそれを取り巻く砂岩で建てられました。30 フィートの表土と 30 フィートの大理石が、それ



アンダーセン図書館(写真上)は地上 5 階建てで 10 万平方フィートの貸出図書館で、基盤下 50 フィートに 84,000 平方フィートの記録文書施設(表紙写真)を有する。この 2 つの施設は、エレベーターおよび階段で繋がれている。プレキャストコンクリートと鉄骨構造である。

ぞれの長さがフットボールのフィールド 2 個分の空洞を覆いました。倉庫部分の使用権を与えられた米国 YMCA は、親切にもそのスペースの一部をワイズに分けてくれました。4,150 万ドルを投じたアンダーセン図書館と称されるこの最新の施設は、2000 年に開館されました。2001 年に設置された「歴史記録アーカイブ諮問委員会」は、容量で 92.5 立方フィートの棚を占める 216 個の収納箱に収められた様々なファイルの内の、重複する資料を廃棄したり、綴じたり、まとめ直しをするなどするなどの整理を行いました。収納スペースに限りがあるため、我々は、記録文書庫には、地域、国際協会の重要な資料のみが納められるべきとの勧告を行いました。(出典:www.ysmen.org)

## 記録文書庫から

始めてワイズメンのクリスマスツリー抽選会が知られるようになった 1938 年から 80 年が経ちました。ワイズメンズクラブの会員であったジョン・ウエルネスは、クリスマスツリーを売って資金を作り、夏に子どもたちをキャンプに送ったことで良く知られています。ウエルネスと仲間のクラブ会員は、この抽選会をミネアポリス市の 46 丁目とリンデール街が交差する角で始めました。Y- ニュースレターがワイズのクリスマスツリープロジェクト 40 周年を評価し、メンバーたちに、自分たちのクリスマスツリーをワイズ抽選会から購入することを思い出させました。なぜならば、「ワイズメンのツリーは 2 つのことを果たします— 若者と自分たちに」

右の写真は、26 番ワードブランチ、現在の YMCA 北ブルックリンブランチに所属する自転車クラブ「YMCA ホイールメン」を写したものです。自転車に乗ることは 1880 年代に、それまでの危険な大車輪式に代わる安全な自転車が發明されてから盛んになりました。ニューヨーク市は、公園内で自転車に乗ることを許可するバッジを発行しました。この写真を注意してご覧になると、写っているブルックリンの自転車乗りたちがバッジをつけているのが分かるでしょう。



## 気候変動—より多くの活動を!

ワイズメンズクラブ国際協会環境委員会(グリーン・チーム)委員長 コリン・ランビー



2010年の横浜国際大会では、次のような声明が採択されました。「私たちは、環境の変動や、利用可能な資源にも限りがあることが、生命に対する本当の脅威であることを認識しています。すべてのメンバーは、自分たちの行動や活動を通じて影響を最小限にするよう奨励されています。ワイズメンズクラブ国際協会は、2010-11年からはカーボンニュートラルとなります。」

ワイズメンズクラブ国際協会は、カーボンオフセット基金を使用して、国際リーダーの温室効果ガス排出量を相殺しました。しかし、もっと多くのことができるはずであり、するべきです。

### 気温の上昇

世界気象機関(WMO)は、過去4年間が記録上最も暖かいという声明を発表したところ。WMOの声明ではまた「…大気中の温室効果ガスは、気候変動の主な要因であり、大気中濃度は、人間の活動による排出量と生物圏と海洋による純吸収量のバランスを反映している」と述べています。さらに声明によると、現在の気温は、工業化前の水準を1℃上回っています。



2015年のパリ協定は、温暖化を1.5℃に制限しようとする世界のほとんどの国による協定です。しかし、温室効果ガスを削減するために十分な活動をしている国はそれほど多くなく、したがって、その原因となっている温暖化を抑えるために自分たちがやるべきことを実施している国も多くありません。

より深刻な気候変動を回避するのに十分な努力をしないことの影響は何でしょうか? 私たちはすでにその影響の例を見ています: 洪水、極端な気象現象(熱波と寒波の両方)、山火事、干ばつなどです。これらの出来事は、さらに深刻で壊滅的なものになるでしょう。

行動を起こさない言い訳は何でしょうか? たとえばオーストラリアは、約2,500万人しか住んでいない国です。オーストラリアは、温室効果ガスの約1パーセントを大気中に排出しています。

### 言い訳、言い訳、言い訳

「アメリカや中国のような国々があるかに多くのガスを排出しているのに、どうして私たちは何かをしなければならないのでしょうか」とオーストラリア人は言います。フランス、イタリア、その他100カ国以上がオーストラリアよりも排出量が少ないのです。オーストラリアの言い訳は的外れです。

人口は、しばしば問題として述べられています。人が少なければ、温室効果ガスが少なくなるため、問題は解決します。この言い訳は通常、人口の多い途上国を参考にして先進国の人々が使用しています。しかし、一人当たりの排出量を見ると、例えばオーストラ

リアやアメリカの人は年間約20トンの温室効果ガスを排出しますが、インド人は年間約2トンです。これもまた的外れの言い訳です。

たいていの言い訳は、たばこ業界と契約し、たばここと癌との関連が無いのではないかという疑念を非常にうまく助長したのと同じ広告会社によって提唱されています。つまり、これらの広告会社は現在、化石燃料業界と契約して、気候変動と化石燃料との関連を疑うことを助長しています。

ワイズメンズクラブ国際協会は、人類に対する関心を、例えばロールバック・マラリア・キャンペーンなどで示しています。世界保健機関(WHO)によると、マラリアによる死亡者は2017年に435,000人に及んでいます。第24回気候変動枠組条約締結国会議(WHO COP24)の「健康と気候変動」に関する特別報告書は、「電力、輸送、産業のための化石燃料の燃焼は、気候変動の主な要因となっている炭素排出の主な原因であり、健康を害する大気汚染の主な原因である。家の内外で汚染された空気に触れたことが原因で死亡する人々は、毎年700万人に上る。」と述べています。WHOはまた、「2030年から2050年の間に、気候変動により、栄養失調、マラリア、下痢、熱ストレスなどにより、年間約25万人がさらに死亡すると予想される」と述べています。

### それは私たちの責任です!

マラリアと気候変動はどちらも何かをする価値がありますが、ひとつの大きな違いは、私たち全員が気候変動に対して部分的に責任があるという事実です。私たちは、移動を最小限に抑える、または少なくとも移動を相殺するなど、さまざまな方法で気候変動への影響を減らすことができます。政府は、行動を起こさなければなりません。個人として、クラブとして、組織として再生可能エネルギーへの移行を支援し、例えばより効果的な照明(LED)を使うなど、他の方法で化石燃料の使用を最小限に抑えることができます。ワイズメンズクラブ国際協会は、登録料に少額のカーボンオフセットチャージを加算することによって、すべての大会を「カーボンニュートラル」にすると宣言することも可能です。

ワイズメンズクラブ国際協会は、二酸化炭素排出量を削減するための資金を持っています。これは、任務を果たすために出張するリーダーの排出量を相殺します。資金はバイオガスプロジェクト、堆肥化プロジェクト、照明のアップグレードに割り当てられています。ワイズメンズクラブやYMCAは、自分たちの地域で照明のアップグレードを行うことができます。これにより、消費電力、ひいては温室効果ガスを削減できます。

カーボンオフセット基金を使って行動を起こすには、[www.wisemen.org / environment](http://www.wisemen.org/environment) をご覧ください。

## リーダーシップ育成のためのグローバルな機会

GOLD 2.0は、新しいプログラムであり、運動全体を会員に紹介する準備ができています。もともとプログラムは、私たちの若い人たちにリーダーシップ開発を提供するように設計されていましたが、活動はあらゆる年齢の新会員に適しています。

GOLD 2.0 マニュアルは、プログラムの理念と利用可能なリソースを説明するいくつかの文書と共に国際本部のウェブサイトに掲載されています。ぜひ最後まで読むことをお勧めします。そして自分自身のリーダーシップ開発の一助としたり、または他の人のためのトレーニングセッションを主導したりするために、カリキュラムを研究することに興味があるならば、私に連絡してください。

GOLD 2.0 トレーニングは、現在のLTOD(リーダーシップトレーニングおよび組織開発)プログラムに取って代わるものではありませんが、既存の指導力を高め、会員が、他の人々に奉



ゴールドプログラムチーム: ディスカッションセッション終了後のナイロビセントラルワイズユースクラブ

仕したり、地元のクラブにより多くの貢献ができるようにしたり、またクラブを超えて指導的役割を将来果たすことができるようにしたりするための準備がより良くてできる新しいスキルを紹介することを目的としています。つまり、GOLD 2.0 カリキュラムは、LTOD の教材を通して提供される特定のトレーニングの前身になるということです。

学習活動へのアプローチは、体験学習と呼ばれるものに基づいています。これは、自分のスキルと知識を発展させるために、自分の既存の知識と経験を共有して共に働き、最後のステップとして、自分の考えを実行するための行動をとるということです。

目標は、各クラブから少なくとも1名の会員を擁して、各区にGOLD 2.0 チームを設立することです。その後、これらのチームは、カリキュラムを調査し、部および区レベルでワークショップを開催する準備をします。カリキュラムは、クラブが例会の一環として活動を利用したり、1つの区または部内で1~3日のワークショップの基礎となったりするように設計されています。

アフリカ地域の元ユース代表、ミリアム・カグリは、自分たちの経験について次のように語っています。「私たちはこのプログラムを8名の活発な参加者のチームとして2017年1月15日に開始しました。私たちのファシリテーターである直前ユース代表のケネディ・ワブレが、大きな助けとなり、学習の手段として最初の討論会を利用し、私たちに指導してくれました。この学習は、ワイズメンズクラブ / Y サービスクラブ運動をより良く理解し、特に私たちの歴史について知る上でとても役に立ちました。」

私たちは、このプログラムを思ったほど早く完成するに至っていませんが、遅くとも年末までには、少なくともプログラムの75%を完成させることを目指しています。私たちは、学習をより簡単にするために自習モードを採用することにしました。

このプログラムは、ワイズ運動について学ぶのを補助するばかりでなく、日々の任務において私たちの指導力を磨くことにも役立つので、各区と部のすべてのヤングメンバーがGOLD 2.0 プログラムに参加することを勧めます。

GOLD 2.0 国際事業主任 デイブ・ホール

## 世界マラリアデー 2019

世界マラリアデー 2019は4月25日です。この毎年恒例のイベントは、マラリアへの関心を高め、マラリアの治療と予防のための資金を提供するための世界的な取り組みです。この日には、マラリア撲滅と予防におけるより良い政治的介入の必要性に焦点を当てるものです。この日は、また、マラリアとの闘いにおいて継続的に大きな成果を上げていることも記念します。

世界マラリアデーの今年のテーマは、「ゼロマラリアは私から始まる」であり、この催しは世界保健機関が主催しています。

世界保健機関は、毎年40万人という世界規模のマラリアによる死亡者数を減少させることを目的として、このイベントでマラリア予防を最優先課題としています。蚊がマラリアを媒介し、拡散するのが最も一般的なので、特に殺虫剤および蚊帳の使用を通して死者数を減らすことで、マラリアの予防を強調する努力が続けられています。この継続的な予防キャンペーンは効果的で、命を救っていることは証明されていますが、まだまだ長い道のりです。

世界マラリアデーと、継続的な意識の高揚と予防、そしてより良い政治的支援を求めるロビー活動は、マラリアを根絶し、マラリアによる死を防ぐために継続してさらに強化されなければなりません。マラリアとそれに関連した死に対するこの継続的な闘いにとって、政府が投資をし、関心を示すことが不可欠です。

世界マラリアデー  
「マラリア撲滅」のために私は手を挙げます。  
参加してください。





# タイム・オブ・ファスト基金 (TOF) ー様々な意味でユニークな基金

タイム・オブ・ファスト(TOF)基金には、興味深い起源があることはめったに思い出されません。それは 1960 年代後半の人間の苦しみに対する純粋な反応から生まれました。1969 年 8 月に、ケネス・アダムスが議長を務めていたワイズメンズクラブ国際協会人間危機委員会が作成し、1970 年 7 月にコペンハーゲンで開催された理事会に報告された、「活動方針」の中に述べられた一つの行動からタイム・オブ・ファストが始まりました。

1970 年にデンマークのコペンハーゲンで開催された第 46 回国際大会の参加者への閉会挨拶で当時のジョン・プライス国際会長は、人間危機軽減のためのゴールドプログラムの目標を 5 万ドル以上に引き上げるように、ワイズ運動を展開しようと唱えました。その事業は、「他者のためのゴールド基金」と命名されました。

断食のアイデアは、アメリカ地域アイオワ区事業主任のヴァイノマンから生まれました。それに伴い、1970 年 12 月 13 日が「断食の日」に指定されました。その最初の努力によって上げられた収入は 3,794 米ドルで、これは難民のための事業に対して世界 YMCA 同盟に送られました。

「他人のための断食の時間」という名前は、1971-72 年に地域奉仕委員会によって採択されました。しかし、オハイオ州アテネ(アメリカ)での 1972 年国際大会で、ハインツグラビア国際会長は、参加者に「断

食の時間(タイム・オブ・ファスト)」として寄付をするよう求めました。その結果、713.17 米ドルの金額が集められ、「他者のためのゴールド基金」に繰り入れられました。

世界 YMCA 同盟との取り決めによって開発途上国の地域に提供される金銭的援助として始まったワイズメンズクラブ国際協会の毎年の募金プログラムは、今や世界中のメンバーが伝統的に、少なくとも 1 回の食事を我慢し(通常は 2 月中に行う)、その食事代を TOF 基金に寄付するという良く知られたプログラムになりました。そして、このようにして集められたお金を世界中のワイズメンと YMCA の両方が後援するプロジェクトで利用できるようにしています。

1972 年の創立以来、TOF 基金は、世界中の YMCA、コミュニティプロジェクト、緊急事態の募金を通じて、開発プロジェクトと災害救済のために 700 万米ドル以上を集めました。

以前、TOF 基金は特定のテーマを設定し、特定の期間に特定のトピックに基づいて行われているプロジェクトに資金を供給していました。現在、この基金は、国連によって定められた持続可能な開発目標に沿った、世界中からのさまざまなプロジェクトに焦点を当てています。地域社会のさまざまなニーズは、地理的条件や経済状況に応じてクラブが提出するプロジェクト提案によって、より適切に評価されるため、この変更は必要であると考えています。

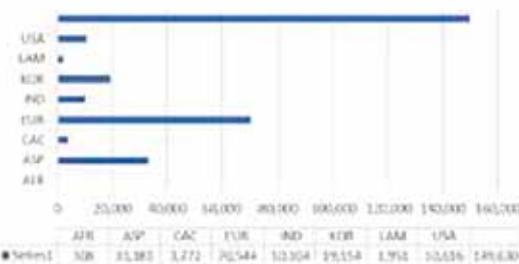


ムン・サン・ボン国際会長、イ・ナムホ国際事業主任、キム・サン・ピョ TOF 委員会委員長およびジョース・バルギーズ国際書記長は、すべてのメンバーが TOF 募金活動に参加することを求めています。TOF チャレンジ:今月中に食事を 1 回抜き、その食事代に相当する金額を TOF に寄付すること。友人 5 人に同じように協力することを依頼してみてください。



今、寄付してください!

2018-19TOF 献金目標額(スイスフラン)



### 強調するポイント

- ・タイム・オブ・ファストは、ワイズメンズクラブ国際協会、YMCA、地域の YMCA 関係者のための国際的助成金プログラムで、ポジティブなパートナーシップの形成を促進し、私たちの社会的インパクトを強めます。
- ・タイム・オブ・ファストに選ばれたプロジェクトは、即、生活を向上させるだけでなく、国連の持続可能な開発目標(SDG)の中の少なくとも 1 つと連携して、長期的なインパクトもあるものです。
- ・歴史的に、その名の通りタイム・オブ・ファストは、メンバーが通常 2 月に食事をスキップし、その食事代に相当する金額をプログラムに寄付することに同意して、断食することを意味します。

今までで一番良い年にしましょう!

2018-19 年度の国際会長の目標は、149,630 スイスフランでした。これを超えましょう!

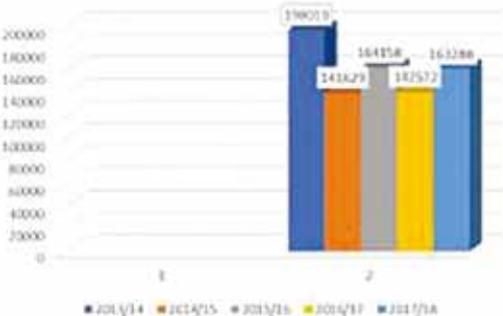
TOF 献金の過去 5 年間の平均合計額の平均は、161,933 スイスフランです。これを超えましょう!

TOF 献金の過去 5 年間の最高額は、196,019 スイスフランでした。これを超えましょう!

今年、200,000 スイスフランを集められますか?イエス、私たちはできます!

TOF 寄付カレンダーを通して、このゴールが達成できるよう、寄付を集めることを考えてください。

過去 5 年間の TOF 献金額(スイスフラン)



過去 5 年間の TOF 支援金額(スイスフラン)



Y's Men International, 9 avenue Sirène Cluffin, 1228 Geneva, Switzerland, www.yemen.org



## エンダウメント・ファンド(EF) — 長期的に安定させるために

EF は 1958 年に発足致しました。その理念は、確固たるものです。すなわち献金されたものを元金として投資し、その運用益を私たちの組織の運営と各種事業に必要な財源とするための基金とすることです。

当初は、この献金の目的に対してメンバーの間での明確なコミュニケーションを欠いていたため、当ファンドに対する反応が鈍く、人々を惹きつけるものではありませんでした。1970 年末までに 4,915 米ドルしか集まりませんでした。

しかし、卓越したワイズメンを記念して献金とともに賛辞を贈り、それを「Golden Book」に記帳するというアイデアが功を奏しました。

今や EF は、いつもそうであったのですが、発展のための基金として理解されています。YMI の全ての地域の皆さんの、ファンドに対する理解が高まったことによってファンドの成長が促進されてきています。

最初の「Golden Book」は、記帳が増えて一杯となり、2 冊目もまた一杯となりました。すべての原本は、ジュネーブの本部に保管されています。

どなたでも、個人でも、クラブでも、部でも、区でも、地域でも、また各種大会としても、献金できます。金額は幾らでも可能です。120 スイスフランの献金で「Golden Book」に記念の言葉、賛辞が記帳されます。1,000 スイスフランの献金で「Golden Book」への記帳と共に、ガラス製の小

像と、EF オナーロールバッジが 2 個贈られます。一つはご自身向けで、もう一つは配偶者用です。

ファンドの制約: 当ファンドからの運用益のみがワイズ運動の支援に使用されます。ファンドの安定のために、元金には手を付けません。

このファンドは、国際議会と EF 基金評議会の承認を得なくては使用することは出来ません。評議会は、使用できる金額の範囲を伝えます。国際議会は、目的に沿った用途に対してどの位の金額をどこに使うべきかを決めます。

評議会は、5 人の委員から成っています。各委員は、任期 5 年で交替制です。毎年国際会長が一人の委員を任命し、入れ替えます。評議会の構成メンバーは、常に最低 YMI の 3 つの地域から任命されます。

評議会は 1997 年の 75 周年までに百万米ドルの達成目標を立てて推進したところ、1 年前倒しで 1996 年に目標を達成いたしました。それ以来目標は、いつも上方修正されてきました。2017-18 年度末で基金額は、250 万スイスフランに達しています。

直近 5 年間の年平均寄付金額は、61,620 スイスフランでした。

ムン国際会長は、「今年は、75,000 スイスフランの目標を我々は達成出来るか?—Yes, we can! 」と力強くチャレンジする姿勢を示しています。

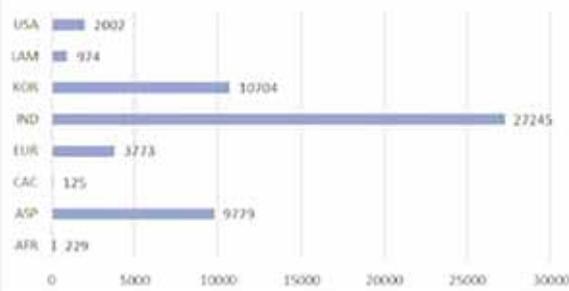


ムン・サン・ボン国際会長、C.R. Raghunadhan EF 推進国際事業主任、ポール・ヘンリック・ホープ・ジェイコブソン EF 基金評議会委員長およびジョース・バルギーズ国際書記長は、すべてのメンバーが EF 募金活動に参加することを求めています。

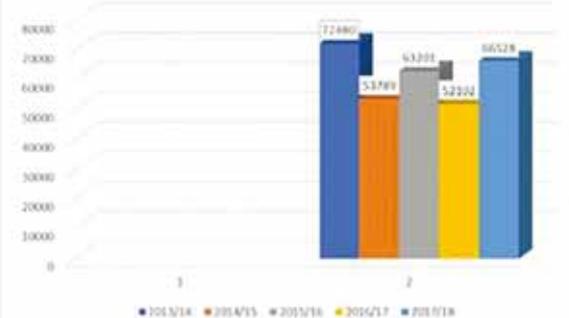
あなたは、どのように EF 募金を助めていますか、私たちの組織の未来のためにあなたのストーリーを共有し、他の者を動機づけてください。



2018-19EF 献金目標額



過去 5 年間の EF 献金額



### 強調するポイント

- EF は、私たちの運動の財政的安定を提供します。1958 年の創設以来、基金は 250 万スイスフランを超えています
- EF の運用益は、SDS の様にワイズダムの開発のための特別なプロジェクト、プログラムのために利用されます。
- 50 スイスフランを上回る EF 献金者には特別な賞が与えられます。EF 献金者のカテゴリー  
50 スイスフラン: エンダウメントフレンド証書  
120 スイスフラン: ポール・ウイリアム・アレキサンダーフェローバッジと証書  
240 スイスフラン: ダブルポール・ウイリアム・アレキサンダーフェローバッジと証書  
120 スイスフラン: ゴールデンブックに記帳(生死を問わず私たちの組織内の他の者、他の組織の榮譽を称える文章)  
1,000 スイスフラン以上: オナーロールバッジとガラスの像

### 今までで一番良い年にしましょう!

2018-19 年度の国際会長の目標は、54,831 スイスフランでした。これを超えましょう!

EF 献金の過去 5 年間の平均合計額の平均は、61,620 スイスフランでした。これを超えましょう!

EF 献金の過去 5 年間の最高額は、72,480 スイスフランでした。これを超えましょう!

今年、75,000 スイスフランを集められますか? イエス、私たちにできます!

メンバー一人当たり 3 スイスフランで私たちは目標を超え、過去 5 年間の最高記録を達成できます。

## デンマークとコソボー報われる旅を共に

2013年にデンマーク、ホルステブロー地区からふたりのワイズメンズクラブメンバー、アーンとラース・ニールソンはYMCAスタッフからなる小グループのコソボでのYMCAの活動の視察に加わりました。本当のことを言えば、2013年にはコソボのYMCAには見るべきことはあまりありませんでした。30人からなるグループは、従来から関わっていたプロジェクトや活動について語り合い、YMCAが今後取るべき方向や希望を正直にかつ何の制約もつけないで話し合いました。



コソボにおける2つめチャリティーショップの前でのデンマークからのボランティアと訪問者

### 中古品販売店の開店

その後、ニールソンとの会話は、YMCA幹部がTOF基金支援を申請する事に繋がりました。YMCAは中古品販売店を開くことによって、この組織の家賃を継続的に賄い続けられるようになるだけでなく、もっと大事なことは、従業員や、ボランティアに働く場所を作り出す事や、この組織の活動のベースを作り出すであろうという考えを持っていました。この会話に勇気付けられ、アーン・ニールソンは、直ちにデンマークに戻り、ファンドレイジング活動を開始し、デンマークの支援組織、中古品デポである、ホルステブロー・ネデヤエルプと強い提携関係を結びました。この地域の区と地元のハーダーネスワイズメンズクラブなどは直ちに行動を起こし、TOFファンディングの申請結果が出る前に、デンマークからコソボに5トンの衣料品が送られました。(編集者注記: 2016-17年第3号のYMIの表紙とP5に記事が掲載されています。)

4年後にいたる今でも、YMCAチャリティーショップは営業を継続しており、数百の家族を、衣料品、歩行補助具、食品、ゲームやテディーベアーなどの援助物資で支援をしています。そ

れとともに、コソボの青少年が仕事や奨学金を確保できることを確実にしていますし、もはや雇用の見込みのない定年間近の女性に仕事の場所を提供しています。コソボの主要都市の中心部には、ワイズメンズクラブのロゴマークとYMCAが目を引き存在になっています。

### 更なる支援

デンマークのハーダーネスワイズメンズクラブは急速に成長しているYMCAへの支援もしています。ワイズメンズクラブはYMCAの移動用の小さい自動車購入のためのファンドレイジングをしたり、ジャコバのYMCAのトイレの改修や、このYMCAは230人の会員がいるので、日常的な施設のメンテナンスを支援したりしています。

最近、デンマーク区のリーダーは、国の支援が建築計画に与えられたことを通知されました。区は毎年一つの計画を選定することを決めました。

コソボYMCAは、長期的に組織とその使命を維持し、青少年の活性化を図るためのタスクフォースを作りました。

YMCAは、青少年のグループをこれまでテサロニケにあるYMCAキャンプに送っており、素晴らしい経験を与えてきましたが、急速に増加する旅費その他の諸費用や申込者の増加に伴い、このプロジェクトを継続できなくなるおそれが生じていました。そこで、このキャンプをYMCAにとって恒常的な施設とし、今後長年にわたり、青少年を力づける場所であるべきということが決定されました。



キャンプサイトの土地を整備するボランティアたち

## 国境を越えたエクステンション — 追い求める価値のあるアイデア



エクステンションは、ワイズ内で最も重要で重大な課題のひとつです。これはまた、「Towards 2022 and Beyond」(2022年とその先に向けて)という文書の中にも力強く表現されています。今、その活動は、100周年記念に向けて懸命に準備を進めています。

会員とクラブ数を増加させる方法のひとつに、国や区を越えた視点に立って、新しいクラブを作るということが挙げられます。ここ数年、私たちはこの考えに情熱を持っているクラブや会員達によって、国境を越えてさまざまな取り組みと試みが行われて実現しています。

元国際会長(2014～2015)のアイザック・パラシナルは、後にLTOD国際事業主任に着任した時に、このようなエクステンションに貢献した人々に与える「国境を越えたエクステンション賞」(EBBA)を提案しました。表彰されたクラブは、ウランバートルワイズメンズクラブ(モンゴル)、フィジーとメルシアYサービスクラブ(イギリス)でした。

後に、デンマーク区が旧東欧諸国でいくつかの新しいクラブを設立したという成功事例がヨーロッパ地域で起こりました。数年前に、このEBBA賞が採用される前に、スウェーデン区はパ

レスチナに2つのクラブを設立することに成功し、デンマーク区、ノルウェー区、ロシア区との合同事業の結果、ウクライナにも最近クラブを設立しました。

昨年12月初頭に、新しい国であるカンボジアに新クラブが設立されました。シンガポールと台湾のワイズメンには、熱心に取り組んで頂き感謝いたします。カナダもハイチで新しいクラブを設立することに成功し、今年末にはポルトガルとオランダにも新しいクラブが設立されることになっています。

たゆまないエクステンション活動を継続していくためには、ワイズとYMCAが、両組織にとってパートナーシップの原則を理解し、お互いに承諾した覚書に基づいて、エクステンションに力を注ぐことが必要です。ジョース・ヴァルギーズ新国際書記長もYMCAでの経験を元に、このようなプロジェクトに積極的に取り組んでいます。

2022年のワイズの目標に向けて、私たちはこの可能性を信じ、それに向かって何かを行うことが大切です。国際的なレベルで、YMIは、これらの活動を強くサポートしていますので、すべてのメンバーがそのような機会を見つけられるようお願いいたします。

国境を越えた友情を作りましょう、それは、皆さまにも大いに関係があることなのです。

ヘンリー・グランドハイム直前国際会長(2018～2019)

## ハイチに新クラブ

1月26日、これまで未踏の地域でポルトープランスYサービスクラブが設立されたときに、ハイチはカナダ・カリブ海諸国地域に加わりました。私たちの多くがFacetime/ GTMでのテレビ会議を介してお祝いに参加しました。フレデリクソンエプシロンYサービスクラブがスポンサークラブでした。ローゲス・ラマンズ会長および15名のクラブメンバーおめでとうございます!

アンソニー・ブローバー区理事がジャマイカ旅行から、まもなくお祝いに参じるでしょう。  
レジ・スプリング、カナダ・カリブ海地域会長



右側ローゲスと共に、  
ゲエニール・アポロン・ハイチ YMCA 総主事

## デンマークとコンボ(前頁からのつづき)

申請書が提出され、それが承認されたことにYMCAは驚きました。それで、コンボで子供たちと若者たちの最初のキャンプ場を建設するために、長くて、時には複雑な道のりを歩み始めました。その設計と建築費用は当初の申請よりはるかに大きい額になりましたが、アメリカのYMCAをリードしたワイズメンズクラブ、国のスポーツ文化・青少年局、地方自治体が財政的な支援を行ないました。プロジェクトは次第に大きくなり、独自の道を歩んでいます。



デンマークのワイズメン達のおかげで、  
新しいセンターが誕生しました。

YMCAフィンランドやレゴ財団のような他の組織もこのプロジェクトを支援しており、数ヶ月の法律的手続きを経て、当局から

認可を得て、ついに地面を掘り起こし、2018年に建設を開始しました。

YMCAとデンマークのワイズメンは非常に緊密な協力関係を築いてきました。そして、彼らの支援が私たちのエネルギーと進歩に繋がることを願っています。あらゆる活動と進歩と並行して、今、ジャコバには2018年に新しくチャーターされたワイズメンズクラブがあります。ワイズメンは、地元のYMCAに集い、子供たちへのいくつかの建築機材に関するアドバイス、指導、専門知識を提供するなどの地域支援プロジェクト活動を実施してきました。

ドリナルルーカ、コンボ YMCA 総主事

## ティラナでの国際プロジェクトが離陸

2018年から2020年にかけて私たちのプロジェクトは、YMCA ティラナのディレクターであるエグラ・ルーラが運営する「アルバニアのティラナでの青少年雇用とビジネス開設のための指導」です。

元ワイズメネット国際プロジェクトコーディネーターであるグーリー・ホルムは、ティラナ YMCA を訪問しエグラに会っただけではなく、他に YMCA で働くボランティア、このプロジェクトに参加している2人の若者に出会えて幸運でした。

エグラは、この研修は10人の若者を2つのグループに分け、その最初のグループがすでに研修会を始めていると述べました。研修の目的は、これらの若者たちが異なった職場においても自分の役割を確立出来るよう指導することです。若者たちは、プログラムに携わって得た希望を分かち合い、将来自分たちがどんな専門家になりたいかを説明しました。各トレーニング・ミーティングで

は、若い人たちが気持ち良く過ごせるようにゲームや運動で始まりました。その後の会議は、ビジネス市場、労働市場、機会および挑戦に関連したテーマで続けられます。一日の最後は、ゲーム／運動とその日の評価で終わります。エグラは、最初の評価の時、晴れ、雲り、雨で表す評価が晴れであったことを報告することを幸せに報告しました。

私たちの国際プロジェクトを支援するワイズメネットクラブに感謝し、未だ援助していただいていないクラブには検討してもらおうようにお奨めします。

私たちは違いを生み出します!

ジョイ・マクナマラ プロジェクトコーディネーター



ワークショップで忙しい若者たち



考え方と応用を説明するボランティア

## スリランカ: 四旬節のチャリティープロジェクト

2018年のレント(四旬節)のシーズン中に、デブスワセヴァナ老人ホームでバンダラウエラワイズメネットクラブによってチャリティー事業が実施されました。ハリ・エラでの、この家の14人の老人と4人のスタッフにシーツ、リネン類、石鹸、歯磨き粉、歯ブラシなどの洗面用具 30,000ルピー(約170ドル)相当の品が贈られました。

後に、彼女たちは、タミルとシンハラの新年を祝う特別な「ニュー・イヤー・ランチ」でその入居者と介護者をもてなしました。生活必需品の入ったギフトパックが各入居者に手渡されました。



## 公 告



YMI ワールドは、2019-20 年の第 1 号から、製作費と郵送コストの上昇に加えて、最新の郵送先のリストの入手と提携郵送業者の確保がしにくくなったため、印刷版の送付を限定することにいたします。

原則として PDF 版のみが会員宛に送付されますが、印刷版を希望される場合は、郵便番号等の詳細を含む住所を [www.ysmen.org/yimiworld](http://www.ysmen.org/yimiworld) を通じて 2019 年 6 月 30 日までにお申し込みください。

## ラテンアメリカ地区:国際会長の主題に刺激を受け、クラブは蘇った

ペルーのリマにあるサンボルハワイズメンズクラブのヴィクトール・タボアダが2018年6月に会長に就任して、最初に取り組んだ課題は、YMIの使命を再認識して、ムン国際会長の主題とスローガンにどのように挑戦するかを検討したことでした。

このサンボルハワイズメンズクラブは、1976年のチャーター以来、通常の地元の奉仕活動に力点を置いてきました。しかし、彼は、これを見直し、前向きに、現実には則した事業計画を策定し、ゴールを達成するために全会員に呼びかけました。

いろいろな反対意見もありましたが、彼の計画に賛同してくれる会員に権限を与え、タスクフォースを組み、各タスクフォースのリーダーは、各会員の支援を取り付けるようにしました。このタスクフォースの中で注目すべきは、「私たちは変えられる」と自ら名付けた女性のグループの活躍です。レニー・コルテスをリーダーとする資金集め

とその配分を担当するグループは、各会員にあまり負担を掛けず、コミュニテイサービス活動のため資金集めを進めました。資金集めは、昼食会、ダンスパーティー、「希望のお茶」その他の活動を通じて行われました。

いつもの福祉活動に加えて、クラブは、リマにて貧しいお年寄りや子どもたち、妊婦、末期疾病の患者などに焦点を絞って活動をはじめました。寄付の贈呈先、訪問先には、シエネギーニャ老人ホーム、母子分娩協会、国立小児健康協会、さらにアルメナラ病院内の小児腫瘍病棟などが挙げられます。

### 活動の展開

計画には、サンボルハワイズメンズクラブの活動をペルー国内の遠隔地に広げることも含まれます。8人の専門家とクラブが戦略的提携関係をむすび、遠方のピウラ州アヤバカ(距離1,200キロ)、イキトス(アマゾン川を越えて1,000

キロ)、マドレデディオス地域のタンボバタ(678キロ)、532キロ離れたアヤクチョ地域のヴァインチョスおよび同じくアヤクチョ地域の700キロ離れた海拔4,000メートルのアサンガロで活動を行いました。計画は、クラブの支援によって、地域の貧しい子供たちのための「2018年クリスマス会」を開くことでした。かかる費



リマのアルメナラ病院内の小児腫瘍病棟に機材を届けているところ



母子分娩協会に寄付を手渡しているところ



アルメナラ病院内の小児腫瘍病棟で子供たちと



プエンテ・ピエドラのティーンエイジャーのための書籍、教育資料

用の50%をクラブが負担し、残りの半分は、地元の個人、企業の支援を求めました。8人の専門家のうち7人は、これらの挑戦に立ち向かい、結果は成功でした。「奉仕することで、私たちが報われる」のテーマの実践でした。資金集めの活動を通して、16人が会員に加わり、その結果、70%の会員増に結びつきました。これらの

16人は、「Whatsapp」メッセージのグループに加わり、クラブ活動の働きを知り、最後に会員になりました。エクステンション活動も進行し、アヤクチョ、ワヌコ、さらに首都であるリマにも新しいクラブの誕生が進行中です。これらのクラブの有力会員候補者は、個人的な接触やオンラインを通じて、トレーニングを受け、新しいクラブでの責任が何であるかを熟知しました。

短期的に、サンボルハクラブは、ペルー保健省からゼロ歳から3歳までの子供たちを貧血から防ぎ、治療するための1万枚の栄養パックの支援を受けました。各地区の医療診療所と協力して、貧血に関する知識を広める活動がこれから行われようとしており、貧しい家族は、最低60日間の治療のために子供ひとりあたり60パックの給付を受けられるようになりました。

このようにしてサンボルハクラブは、従来のやり方に挑戦する勇気を示し、ワイズ運動をこれまでから超えた方向に変えています。

ラテンアメリカ地域元会長 シルビア・レイエス・デ・クロチ



サンボルハから1,200キロ離れたペルー・ピウラでのクリスマス会での人々

# カナダとアフリカ:ナイロビ・キベラ YMCA 学校を通じての強い結びつき

オタワ Y サービスクラブとアフリカ・キベラ小学校との協力関係は、デビッド・ホールがナイロビに在住のワイズの友人スタンレー・キネキを訪問した2010年に始まりました。ふたりは、最初、オーストラリア・シドニーでの国際大会で知り合いました。ふたりは、国際議員で、そこで同じ部屋をシェアしました。

その後、スタンレーのふたりの息子が、YEPP と STEP の交換留学生として、デビッド・ホールの家庭でお世話になりました。ふたつの家族は、距離的に離れていても、このようにして強い絆で結ばれました。

デビッド・ホールが2010年にアフリカを訪問したとき、スタンレー・キネキは、キベラのスラム街と



YMCA 学校を案内しました。その後ふたりは、この

の学校を支援する計画を検討し、ケニア政府が承認して生徒たちが国家試験を受けることができ、出来れば彼らが中等教育の段階まで進めるように話し合いました。

2013年までにオタワクラブは、彼らのための学校を建設し、さらにはキベラの優秀な卒業生には中等教育を受けるための寄宿学校まで進めるように奨学金を出せるようなプログラムを作成し、この段階までに80,000カナダドルの募金を集めました。2013年に認定された7人の生徒は、2016年12月に全員卒業し、2017年にはさらに2名がそれに続き、2018年には別の8人が中等教育を終えることができました。

これらの生徒の奨学金のため、合計して50,000カナダドルが提供されました。

### 現在の状況

2018年11月にキベラ YMCA 学校の前述の8名の生徒が首尾よく中等教育を修了しました。これはひとえにオタワ Y クラブの会員と友人の支援によるものです。彼らは2012年に奨学金制度が設立されてから3番目のグループでした。2019年度は、少なくとも9名の生徒に奨学金を提供する予定であり、この奨学金には、彼らの制服代、テキスト代、寄宿費、1日1分の食費を含んでいます。キベラ YMCA 学校は、2012年から生徒数が倍増し、今や400名の生徒が在籍して8つの教室とその他の施設を今後2年間に新しく増設する計画です。したがって、この増設、改良工事のため、さらに資金が必要になります。

デビッド・ホール GOLD2.0 国際事業主任

### アランの場合

他人の夢だと思っていたことが、カナダのオタワ Y サービスクラブの奨学金支援プログラムのおかげで、私が中等教育を受けられることが実現しました。この知らせは、ケニアの中等教育資格証明を待っていて訪れました。私は、当地で一番優秀なカトリック学校であるといわれているジョセフ高校で中等教育を受けました。



私は、YMCA の経営陣とケン・オワデさんが、私が入学し、勉学を行えるようにするために捧げていただいた犠牲をはっきりと覚えています。YMCA は、私たちが体力的にそして、精神的にも支え、激励してくれました。私たちが受講した、人生をどのように生きるかというプログラムは、私が学校でそして人生での教育訓練を確かに身につけるためのものであったことを理解しました。生徒にとって学校教育を受けるための資金が足りないということが一般的ですが、私はおかげで高等専門教育を受けることができました。大学では経済と統計の学士を目指します。

私のこれからの達成目標が、単に私に利益になるだけでなく、地域社会、さらには国家のために役立つことを楽しみにしています。この機会に、スポンサーの方々、ケン・オワデさんそして私の勉学の背後にいる方々に、皆さんの努力が決して無駄にならず社会に役立つことを願いつつ、心から感謝を申し上げます。

### スリランカ:長年にわたる支援者の訪問

スリランカのモラトウクラブがノルウェーのアーデンハルクラブ(兄弟クラブ)のエリザベス・ハラヴォーセンとその友人とモラトウのカトゥルンダにある身体障害のある女兒たちの施設を訪問しました。彼らは、この施設と35年間に亘り関わってきました。彼らは、まもなくやってくる施設の設立50周年に当たって、女兒の衣料や39,000スリランカルピー(222米ドル)の現金を寄贈しました。



## アフリカ:チカクラブのワイズメンがダンカンの救済に駆けつける

2018年の中頃、チカワイズメンズクラブは、そのメンバーである元国際会長ベンソン・ワブレとメアリー夫人からダンカン・ヌゴヴィに関する胸が痛むような話を知りました。1990年代に通っていた小学校からの下校中に同級生がふざけて押した事でダンカンは、列車に轢かれました。当時彼は、小学2年生でした。神の恩寵によってダンカンの頭と胴体は、猛スピードで走行していた列車に押しつぶされる事は免れましたが、両手両足を失いました。長時間に渡る治療のお陰で、彼は命をとりとめ、傷は癒え、初等教育と中等教育を終えることができました。数年後、父親を亡くした事で、ダンカンと病気の母親とふたりの兄弟に家庭に関する難問が持ち上がり、ホームレスとなりました。幸運な事に、ある教会が彼に町中の家を提供してくれたので、母親と兄弟と一緒にチカの町で暮らしています。これで一安心なのですが、彼らに収入はありません。

チカワイズメンズクラブの会員は、この件について話し合い、ダンカンの家にクラブ役員を送って真剣に協議を行い、家族の優先順に従って必要な物のリストを作成しました。最優先事項は、道路に面している一部屋を小さな店舗に改修する事でした。そうする事で家族は、定収入を得て自活できるようになるのです。更に協議を重ねた結果、チカワイズメンズクラブは、これが最善の策であるという合意に達しました。クラブ会員達は、早速寄付を行い、大工職人達を雇って部屋に柵を取り付けました。それが終わると更に寄付をして商品を仕入れて家に運び入れ、2019



年1月25日には、本当に感動的で心躍る式典を開いて開店を祝いました。ダンカンと家族の笑顔は、本当に感動的でした。

私たちチカクラブの会員は、ダンカンと商品販売や近くの卸売業者から商品を補充して手助けをしている母親を2ヶ月ごとに訪問して進捗状況をチェックし、必要であれば彼らに更なる財政援助、カウンセリング、トレーニングを提供する予定です。

ヌゴヴィ家には、まだ多くの課題も残されています。その中には家の安全対策、ダンカンの兄弟の就職、家族用ベッドの購入、家の電力供給設備を整える事、家の塗装などが含まれています。チカクラブのワイズメンは、これらの必要性をもっと満たすことを望んでいます。

クラブ会長、ボニフェイス・ムインデ

## インド:ワイズ・ケア・プロジェクト

中西インド区第1部は、2019年1月20日「高齢者・子どもケア」プログラムを実施しました。介護施設、孤児院、救貧院など21施設の入所者およそ500名がワイズの家族と交流するために一堂に会しました。この日は参加者全員にとって楽しい親睦の1日となりました。終日、参加住民のために数多くの楽しいゲーム、余興、歌のコンテスト、鉛筆スケッチ、厳選されたスポーツやゲームが行われ、優勝者全員に賞が授与されました。数名の地元の著名人がこの行事に花を添えて、特別なパフォーマンスを行いました。21全ての施設に対して特別感謝賞が授与される一方で、参加住民全員にもお土産が配られました。



部長、ニジュ・モハンダス

## インド:意識向上ラリー

1月26日クラブ会長によるインド共和国建国記念日の国旗掲揚式に続いて33名が参加したカリカット北ワイズメンズクラブ主催の自動車ラリーが部長の旗の合図で始まりました。全ての車の車体の横には、「腎臓を救おう、命を救おう」というテーマに関する大きなステッカーが、でかでかと貼られていました。その自動車ラリーは、ワヤナド・グハッツ、カルベッタ、バセリーを経由して隣のタミール・ナドゥ州のニルギリスがゴールとなっていました。このコース沿いにある各クラブの会員は、ラリー参加者を歓迎し、声援を送りました。ラリー参加者は、ニルギリスに一泊して翌日の正午までに戻りました。

元部長、P. S. フランシス





## 2019 年国際選挙結果

2018/19 年度の国際選挙の当選者が、タイのチェンマイで開催されていた年央会議の金曜日の席上、アナウンスされました。7つの地域で国際議員の選出が必要でしたが、選挙が必要なのは2つの地域のみでした。アジア太平洋地域は、シンガポール(南東アジア区)の Soo Theng (David) Lua(デビッド・ルア)、ヨーロッパ地域は、デンマーク(デンマーク区)の Bjarne Soenderskow が当選しました。その他の国際議員、次期国際議員は無投票で選ばれました。(訳注以下の一覧での氏名は、アルファベット表記のままとします。日本語での読みは、今後の国際議会等で本人に確認いたします。)



**ポール・ヘンリック・ホーフ・ジェイコブソン**

ヨーロッパ地域・デンマーク区から 2019/20 年度の次期国際会長に選出されました。35 年間、アウラムクラブのメンバーであり、クラブは常にグッドスタンディングを維持し、ロールバックマラリアプロジェクトに深く関わっています。

### 2019-20 年度地域会長 / 次期地域会長 / 国際議員 / 次期国際議員



**Tom Ibusi Waka**  
アフリカ地域・次期地域会長 /  
次期国際議員  
ケニア(アフリカ南東区)



**Soo Theng (David) Lua**  
アジア太平洋地域・次期地域会長 /  
次期国際議員  
シンガポール(南東アジア区)



**Rossana Croci-Reyes**  
ラテンアメリカ地域・次期地域会長 /  
次期国際議員  
ウルグアイ(ラテンアメリカ区)



**Bjarne Soenderkov**  
ヨーロッパ地域・次期地域会長 /  
次期国際議員  
デンマーク(デンマーク区)



**Shanavaskhan A. K.**  
インド地域・次期国際議員  
インド(南西インド区)



**Aurelian Figureido**  
インド地域・次期国際議員  
インド(中西インド区)



**Joseph Kottooran**  
インド地域・次期国際議員  
インド(中西インド区)



**Hong Young-seung**  
韓国地域・次期地域会長 /  
次期国際議員  
韓国(韓国全北区)



**Lauren Henry**  
米国地域・国際議員(青年)  
米国(太平洋南西区)



**Murray Dunbar**  
カナダ・カリブ海諸国地域・地域会長 /  
国際議員  
カナダ(沿岸区)



**Robert (Bobby) Stivers-Apiki**  
米国地域・地域会長 / 国際議員  
米国(ハワイ区)



## レッテルを貼る行為の非人道的な影響

けどもの、テロリスト、不法移民、クライシスアクター（偽旗作戦の役者）、過激主義者、変わり者といった単語には、ある共通点があります。これらの単語は、我々が恐れを感じたり、不信感を持ったり、毛嫌いしたり、脅威を感じたりする人達に対して我々が貼る非人間的なレッテルなのです。このようなレッテルを他者に貼る時、私達はもはや彼らの言う事を傾聴したり、和解したりするに値する人物と看做していないのです。父親、母親、息子、娘、隣人の命を奪うよりも「テロリスト」の命を奪う方がはるかに簡単なのです。「クライシスアクター」の痛みを無視して彼らを疑う方が、腰を落ち着けて彼らの言う事に耳を傾け、協力するための共通点を見つけ出すよりも容易なのです。異なる言語を話す人が誰か、出身地はどこか、近所に住んでいる少数民族としてどれほど不安を感じているかを理解しようとする事よりも、その人を怒鳴りつけて黙らせようとする事の方がたやすいのです。

私達が貼るレッテルは、箱のようなものです。誰かにレッテルを貼る時、私達はその人物を自分の偏見、誤解、思い込みに基づく箱の中に入れておいて、その人物の人間性と、自由かつ自立した人間になる権利を奪っているのです。

一般に用いられているレッテルでさえ人の人間性を奪い、分裂や紛争を生む可能性があるのです。もし誰かが私を「リベラルな人物」と呼ぶなら、それが何を意味するのか確信が持てません。なぜなら、彼らの「リベラルな人物」の定義が私の定義と全く異なっているかも知れないからです。そして私が多分にリベラルな人物の全てのイメージに当てはまるにしても、彼らが「リベラルな人物」について持っている全ての否定的なイメージを私に押しつけるかも知れないのです。

私達が貼るレッテルは、箱のようなものです。誰かにレッテルを貼る時、私達はその人物を自分の偏見、誤解、思い込みに基づく箱の中に入れておいて、その人物の人間性と、自由かつ自立した人間となる権利を奪っているのです。私達が貼るレッテルは、他者と自分達の間を壁を築き、彼らとの対話と関わりを妨げるのです。同時にそのレッテルを声高に長期間使い続けるなら、他の人達もそれが真実であり、ラベルを貼られた人達が誰で、どんな人物であるかを規定してしまうのです。

イエス・キリストは、この他者にレッテルを貼るという不健全な習慣についてどう考えておられたのでしょうか？ヨハネによる福音書第8章1-11節にそれに関連した話があります。律法学者達やファリサイ派の人々が姦婦のレッテルを貼った女性をイエスのもとに連れて来ました。律法によると姦婦のレッテルを貼られた人物は、石打の死刑に処されなくてはなりません。イエスは、古いモーセの律法に従うのではなく、その場に集まって女性を避難していた人達に、その女性に目を向けるのではなく、自分自身に目を向けるようにとたしなめられました。「あなたたちの中で罪を犯したことはない者が、まず、この女に石を投げなさい。」おそらくイエスは、「他者にレッテルを貼ってはならない。その代わりに、自分自身と自らの生活の改めるべき点に目を向けなさい。」と語られていたのでしょう。

ヨハネによる福音書第2章15節に述べてあるようにイエスが神殿から商人や両替人達を追い出した時、イエスは、ただご自身が不満に思った事を明言するために「クライシスアクター」を演じられていたのでしょうか？当時の傲慢な司祭達は、どうやらそのように考えたようです。なぜなら彼らは、その行為に怒りを表し、イエスの発したメッセージに決してじっくりと耳を傾けようとはしなかったからです。

山上の垂訓の中でイエスは、以下の教えを述べられました。『お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせず、のどが渴いていたときに飲ませず、旅をしていたときに宿を貸さず、裸のときに着せず、病気のとき、牢にいたときに訪ねてくれなかったからだ。』すると彼らは答える。『主よ、いつわたしたちは、あなたが飢えたり、渴いたり、旅をしたり、裸であったり、病気であったり、牢におられたりするのを見て、お世話をしなかったのでしょうか。』

そこでわたしは答える。『わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしなかったのは、わたしにしてくれなかったことなのである』

この教えは、我々が誰かを「けどもの」と呼ぶ時、イエスを「けどもの」呼ばわりしている事になると論じているのでしょうか。誰かを偏見、嫌悪、恐れでできた箱の中に入れる時、私達はイエスをその箱の中に入れておいている事になるのでしょうか。

イエスは、隣人を自分のように愛し、飢えている者に食べ物を与え、牢に入れられている者を訪ね、旅人をもてなし、病人の世話をするようにと我々に訴えられました。レッテルを貼ることは、それを妨げる恐れがあります。キリストにおいて全ての人からレッテル、身分、人を隔てる壁を取り除かなくてはなりません。なぜならイエス・キリストにおいて我々は、一つであるからです。

\*マックス エディガーは、カンボジアで設立された「平和の学校」の運営責任者です。[www.mennolink.org/peace](http://www.mennolink.org/peace) アメリカ合衆国メノナイト教会平和正義支援ネットワーク・ネット出版、ピースサインズの許可を得て転載



Y's Men International  
Y Service Clubs International

YMI WORLD

"To acknowledge the duty that accompanies every right" Only for private distribution to members

クラブの指導的立場にあるメンバーは、実施した活動に関する記事を1枚以上の高解像度の写真と適切な短い説明文を付けて国際本部に送られることをお勧めします。記事は、150語(英語)以内でお願いします。読者の皆さんもグローバルな我々の運動に関する関心事について、ご意見や原稿をお寄せ下さい。記事と写真を [www.ysmen.org/yimiworld](http://www.ysmen.org/yimiworld) にお送り下さい。次号掲載記事の提出締切日:2019年5月31日

# MALARIA KILLS!

In 2017, there were an estimated 435,000 deaths from malaria globally according to the World Health Organisation.

ROLL BACK MALARIA's strategy includes distribution of long-lasting insecticidal nets (LLINs) to prevent mosquitos from infecting people with malaria.

## マラリアは人を殺す！

世界保健機関によると、世界中で 43,500 人がマラリアで死亡しています。

ロールバックマラリアの戦略には、蚊による人々へのマラリアの感染を防ぐため、長期残効型の蚊帳 (LLIN) の配給が含まれています。

## 7スイスフランの蚊帳一張が命を救います。

2018-2019 年度の目標である 15 万スイスフランを達成するため、どうぞ今日、寄付してください。5 年前に設定した 50 万スイスフランの初期目標を超えることができたことに感謝申し上げます。

ワイズメンズクラブ国際協会のロールバックマラリアへの貢献は、国際連合の「持続可能な開発目標」のゴール3に呼応して、2030年までにマラリアを撲滅することを目指している国際赤十字連盟とのパートナーシップで行われています。

詳しくは、[www.endmalaria.org](http://www.endmalaria.org) をご覧ください。



For further details:  
[www.endmalaria.org](http://www.endmalaria.org)